

ハイマダラノメイガ(ダイコンシンクイ)の発生に注意しましょう

(9月4日)

事務連絡

平成20年9月4日

関係各位

大阪府病害虫防除所長

ハイマダラノメイガ(ダイコンシンクイ)の発生に注意しましょう

8月下旬から9月にかけて、泉州の植物防疫協力員等から、ハイマダラノメイガの発生が例年より多く見られるとの情報がありました。また、環境農林水産総合研究所食とみどり技術センター内に設置したファネルトラップの調査結果では、8月下旬は平年値を大きく超えており、今年から設置した粘着トラップの調査結果でも、8月28日から9月1日にかけて捕獲虫数が一気に増加しています。

ハイマダラノメイガはアブラナ科野菜等の苗や定植直後の株に被害を大きくもたらします。

発生状況に注意して防除して下さい。

ハイマダラノメイガのファネルトラップ調査結果(単位：頭)

捕獲虫数	8月上旬	8月中旬	8月下旬
平成20年度	0	0	54
平成15～20年度の平均値	2	9	20

ハイマダラノメイガの粘着トラップ調査結果(単位:頭)

調査日	8/ 3	8/ 7	8/12	8/15	8/19	8/22	8/25	8/28	9/ 1
捕獲虫数	3	0	0	3	0	0	0	0	40

○ハイマダラノメイガの幼虫は7~11月に発生する。特に8月下旬~10月にかけての発生が多い。この時期が高温小雨の年に多発する傾向がある。

○は種期が8~10月のアブラナ科野菜での被害が多い。被害は、発芽して本葉が展開する頃から現れる。育苗期間中や定植直後に被害を受けると芯止まりや著しい生育障害を受ける。

○ハイマダラノメイガは、茎の内部に食入したり、芯葉をつづり合わせて中に潜むため、薬剤がかかりにくい。育苗期の防除を徹底し、適用があれば定植時の粒剤処理により本ぼへの虫の持ち込み防止を図る。部分的に多発することがあるので注意が必要。

◎防除薬剤については、

●Web版大阪府病害虫防除指針 (<http://www.jpnpn.ne.jp/osaka>)

●農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報検索システム

(<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>)

にて確認してください。

なお、薬剤の選定や使用にあたっては、ラベルに記載されている内容をよく読んで注意して下さい。